田丁村道里報

(町村の購読料は会費) (の中に含まれております)

2828号

毎週月曜日発行

随情情情活

想 報 報

村 N a 復興だより

福呼ぶ市に笑顔が集う…

·宮城県色麻町

長

伊

藤

拓哉

(15)

もくじ

報動

農山村で教えてもらったこと……特定非営利活動法人・地球緑化セン

都道府県町村会正副会長交流会を開催―自治功労者50名を表彰

活

動

総務大臣・

地方

六団体代表者

意見

交換に

藤原会長が
出席

-平成25年度地方財政対策を受けて共同声明を発表

発行所 全国町村会 〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号: 電話03-3581-0486 FAX03-3580-5955 発行人 山中昭栄: 定価1部40円・年間1,500円(税、送料含む) 振替口座00110-8-47697 http://www.zck.or.jp



村に関心を持つのか。

そこには日本文化の

なぜ都市や地域外部の若い世代が農山漁

夕 外 部

人

材

0)

活

用

法政大学教授

間おか

﨑竇

昌ま

之き

高まっている。 独自に実施する連携事業も多い。 部の集落と各大学のゼミ生たちが直接交流 を活用した集落復興支援事業」では、 を上げ始めている。福島県の 践活動を推進する 加している。 様々なインターンシップに多くの若者が参 し集落再生を模索するなど、県や市町 レ協力隊をはじめ緑のふるさと協力隊 若い世代のあいだで農山漁村への関 地域と大学が連携して地域実 ドラマにもなった地域おり 「域学連携」事業も成果 「大学生の力 対が

生活空間はかえって新鮮に映る。生活空間はかえって新鮮に映る。というる伝統やしきたり、祭りや行事を遂行する人の仕組みがあるからだ。食品を遂行する人の仕組みがあるからだ。食品を遂行する人の仕組みがあるからだ。食品を遂行する人の仕組みがあるからだ。食品を遂行する人の仕組みがあるからだ。食品を遂行する人の仕組みがあるからだ。食品を遂行する人の仕組みがあるからだ。食品を遂行する人の仕組みがあるからだ。食品を遂行する人の仕組みがあるからだ。食品を遂行する人の仕組みがあるからだ。食品を遂行する人の仕組みがあるからだ。

重要である。あうには、理

生業や伝統などを、

外部人材に分かり

支援だ。集落の人たちと若者が理解を深め

現場との間を繋ぐ職員の役割が

地域の特性、住民の心情や誇

るために不可欠なのが受入れ市町村職員の

これからの外部人材が地域で力を発揮す

この動向を先導してきた若者群がいる。

民と密接に交流することが重要である。

行事や生活、

経済状況等を認識し、

地域住

真の状況は役場にいるだけでは把握できな

普段から現場に出て、地区の成り立ち、

には日常の地域把握力が問われる。

正確に伝える必要がある。

そのため

地域の

験している。 町の日本上流文化圏研究所、 的スキルや社会経験を持つ。外部から移住 多くが大学院をでたり企業で働くなど専門 者である。いわゆる団塊の世代ジュニアで、 支える(財)学びやの里などの中核を担う若 区等で活動するかみえちご山里ファン倶楽 遠野山里暮らしネットワーク、 仕事の仕方を実践的に示してきた。 熊本県小国町の九州ツーリズム大学を 次世代に対して地域での暮らし方や 地元出身でも地域外での生活を経 積極的に若い学生を受け入れ 上越市桑取 山梨県早川 地

●写真募集●

(9) (4) (2)

クー

中莖

宮城県南三陸町

(13) (12)

表紙に掲載する写真を募集しています。採用者には、粗品を差し上 げます。

写真には撮影者の住所、氏名及び 撮影場所・日時を明記して下さい。 なお、採否は当方に一任願います。 送り先:全国町村会・広報部

地方六団体

即方

平成25年度地方財政対策を受けて共同声明を発表





▲新藤総務大臣

②来年4月の消費税増税を控



▲本会からは藤原会長が出席

村政務官らが、本会からは藤原会長(長野県町村会長・川上村長) いて開催され、 .政務官らが、本会からは藤原会長(長野県町村会長・川上村長)が,て開催され、総務省からは新藤総務大臣をはじめ坂本副大臣、北総務大臣・地方六団体代表者の意見交換が1月25日に総務省にお 地方公務員の給与削減に関する意見交換を行った。

出席、

体は共同声明を発表した。

衝を経て平成25年度地方財政対策が決着したことを受け、地方六団

1月27日に、新藤総務大臣と麻生副総理・財務大臣との折

見合った事業費を歳出に計上する。 災・減災事業」と「地域の元気づくり 衝している、 総額について、実質的に24年度の地 与水準や職員削減努力などを反映し さらに「地域の元気づくり事業」に 事業」を明確に打ち立て、給与削減に た算定を取り入れたい、③一般財源 ついては、これまでの行革努力、 して7月からの実施で財政当局と折 公務員給与削減の実施時期について 八団体からの意見を受けて、 ②地方財政計画に

務員の給与水準が上回るからといっ 減額支給措置により瞬間的に地方公 の給与水準は長期にわたり国を大き 体にも参画いただいて議論していき 員給与のあり方については、 て地方交付税を一律カットするのは く下回っており、 いて、この問題を協議したが、①町村 たいーとの発言があった。 万財政計画の水準を下回らないよう にしたい、④26年度以降の地方公務 本会の各都道府県町村会長会にお これに対し藤原会長からは、 6月議会での条例改正を前提と 国家公務員の給与 地方団

意見交換会 総務大臣·地方六団体代表者

新藤総務大臣は、 これまでの地方

保障はない、

③給与引き下げは地域

年限りで給与の削減分が戻る

経済の再生に逆行している、

④防炎

活 動

平成25年度 地方財政対策・地方公務員給与についての共同声明

本日、平成25年度地方財政対策に関する閣僚間折衝が行われ、通常収支分の地 方交付税について、出口ベースで17.1兆円を確保するとともに、地方の一般財源 総額について、平成24年度と同水準となる59.8兆円を確保することが決定された。

1. 今回の決定においては、地方が強く訴えてきた一般財源総額確保の要請に 応え、緊急防災・減災事業や地域の元気づくり事業の需要の積み上げが行わ れたこと、地方交付税の別枠加算が確保されたことなど、総務大臣をはじめ 政府関係者の財源確保に向けての努力・工夫については受け止めるものであ る。しかしながら、今回の地方公務員給与の取扱いについては、以下に述べ るような本質的な問題が内在しており、この点については極めて遺憾である と言わざるを得ない。

緊急経済対策や大胆な「15ヶ月予算」の円滑かつ迅速な実行により、地域経 済の活性化に国と地方が協働して取り組もうとしている一方で、この10年あ まりの国をはるかに上回る地方の行財政改革の努力を適切に評価することな く、国家公務員の給与減額支給措置に準じて地方公務員の給与の削減を求め るとともに、それを反映して地方交付税を削減したことは、財政力の弱い団 体ほどその影響を大きく受けるものである。また、「地域経済の再生なくして、 日本経済の再生なし」との国と地方の共通認識からも、極めて問題である。

2. そもそも地方公務員の給与は、公平・中立な知見を踏まえつつ、議会や住 民の意思に基づき地方が自主的に決定すべきものであり、国が地方公務員の 給与削減を強制することは、地方自治の根幹に関わる問題である。ましてや、 地方交付税を国の政策目的を達成するための手段として用いることは、地方 の固有財源という性格を否定するものであり、断じて行うべきではない。

我々地方六団体は、国と地方の信頼関係を重視する立場から、地方との十 分な協議を経ないまま、地方公務員給与費に係る地方交付税を一方的に削減 する今回のような措置を二度と行わないよう、強く求める。本来、給与は地 方公務員法により、個々の自治体の条例に基づき、自主的に決定されるもの であり、その自主性を侵すことのないよう強く求める。

3. また、自公政権下において地方分権改革推進委員会から3.5万人の国家公 務員の削減勧告がなされたことも踏まえ、国において早急かつ抜本的に地方 並みの定数削減を断行すべきである。

その上で、公務員の総人件費や給与適正化のあり方については、国・地方 を通じた中長期的な行財政改革の中で考えるべきであり、今後ラスパイレス 指数のあり方を含め、給与と手当の総合的な比較を行い、早急に「国と地方 の協議の場」等において十分協議することを求める。

平成25年1月27日 地方六団体

玉 知 事 会 会 長 ШШ 啓二 全国都道府県議会議長会会長 山本 教和 市 長 会 会 森 民夫 全国市議会議長会会長 関谷 博 会 玉 村 会 忠彦 藤原 全国町村議会議長会会長 髙橋 正

で、合理性があるとは言えないので 必ずしも地方公務員と比較する上 見が出たことを強調した上で、「国家 の大義名分には説得力がない等の意 減災対策、 公務員の諸手当を含む給与体系は 地域活性化事業に活用と

る」と述べた。 務省との取組姿勢をしっかり見てい 行ってほしい。 財務大臣と強力かつ粘り強い折衝を 臣は地方の味方だと思っているので、 地方は不信感を抱いている。

に準じるよう求められること自体に 給与水準のみを基準に、 地方は総務省の対財 国の 総務大 取扱い

地方財政対策決着

月27日に平成25年度地方財政対

策に関 で合意、これを反映して、 前提として0・9兆円減とすること 理・財務大臣との折衝が行われ 税が出口ベースで17・1兆円 方公務員給与費を7月からの実施を Ĺ 新藤総務大臣と麻生副 地方交付 **対** 地 総

声明を発表した。

(左記参照

り事業費」 方の と同水準の59・8兆円が確保された。 て計上することとなり 減災事業費」、 般財源については、 を歳出に特別枠を設定し 「地域の元気づく 平成24年度 「緊急防 地

年度 これを受けて、 ▲ 0 · 4兆円) 地方

六団体は

共同 となる 方、

活 動

全国町村会 崩



本

都道府県町村会正副会長交流会を開催し 自治功労者の表彰を行った。 東京・永田町の全国町村会館において、 全国町村会は1月24日午後3時から、

会議長会会長から祝辞が述べられた。 拶があり、 に藤原忠彦会長(長野県川上村長)の挨 事務局長など約160名が出席。 本交流会には、 哲志 総務副大臣、髙橋 正 全国町村議 続いて来賓として出席した坂 各都道府県の正副会長 はじめ

大森 彌氏から「町村の存亡がかかる道州 から表彰状と記念品が贈呈された。 京都奥多摩町長・河村文夫氏に藤原会長 の表彰が行われ、 制」というテーマで講演が行われた。 (町村長 (3期) 続いて自治功労者の表彰に移り、50名 なお、表彰終了後、東京大学名誉教授 4名、退職町村長6名) 被表彰者代表である東

動

活

い さ つ

村 振興発展に向けた活動を協力に推 進

全国町村会長

藤じはら

忠だなるこ

例外な



ざいます。 おかれましては、 都道府県町村会正副会長の皆様方に り厚く御礼申し上げます。また、各 ろ、坂本総務副大臣、髙橋全国町村 会長交流会を開催いたしましたとこ ご出席いただき、 公務極めてご多端の折、ご臨席を賜 議会議長会会長におかれましては 本日ここに、都道府県町村会正副 ご多用の中を遠路 誠にありがとうご

会では、 開催となります。 この交流会は、 度の機会であり、今回が二回目の 副会長が一堂に会する一年に 複数県の正副会長さんが意 昨年の第一回交流 都道府県町村会の

> じて、相互の連携を強化し、 治の振興発展に向けた活動の充実に ます。どうか本年も意見交換等を诵 たものと意を強くしたところであり おり、交流会開催の趣旨が活かされ て交流を深められたともお聞きして 気投合され、後日、相互に訪問し合っ つなげていただきたいと願っており

が評価されたものであり、心からお 祝いを申し上げる次第であります。 る皆様におかれましては、 いたしております。 法興発展に大きく貢献された功績 ・重要な職務を全うされ、 また、本日の交流会におきまして 自治功労者の表彰を行うことと 表彰を受けられ 町村自治 長年に百

ではなく、農林漁業と農山漁村の再

生・活性化こそが優先されるべきで

あると存じております。

ております。 的な施策を打ち出すことが求められ する喫緊の課題に対し、 エネルギー対策、 新政府には、東日本大震災からの復 する安倍内閣が発足いたしました。 新たに自由民主党・公明党を与党と さて、先の衆議院議員選挙により デフレ脱却に向けた経済対策 外交問題など山積 早期に具体

町村自 きましては、農林漁業のみならず 平洋経済連携協定への交渉参加につ ます。今、行うべきは、TPP参加 要な「国益」であると確信しており 統・文化を育む農山漁村こそが、 水産業と国土・自然環境を守り、 ありません。国民の命を支える農林 の利益のみで語られるべきものでは いました。「国益」とは、 あり、これまで三度の反対決議を行 地域経済・社会の崩壊を招くもので く関税や規制を撤廃するTPP環太 そうした中で、とりわけ、

輸出産業

伝 重

題であります。このため、全国町村 会は一貫して反対するとともに、 町村にとって大きな影響を及ぼす問 差の拡大、市町村の強制的な再編等 くなり、住民自治の埋没や地域間格 大な道州は住民との距離が一段と遠 制を作ることに他ならず、また、 権とは全くかけ離れ、新たな集権体 きておりますが、道州制は、地方分 さらに、道州制の議論が再燃して E

> 信しております。 を真摯に願う心ある人々は、 において、 年十一月に開催した全国町村長大会 道州制に賛意を示すことはないと確 ところであります。地方自治の発展 改めて特別決議を行った 決して

肝要であると存じます。 働きかけを強力に行っていくことが に影響を及ぼすことがないよう、政 が不可欠であり、町村の行財政運営 税の復元・増額等、 体改革で大幅に削減された地方交付 が、町村が自主的、主体的な地域づ 閣議決定されるとのことであります 府・与党等の動きを注視し、 くりを進めていくためには、三位 十五年度政府予算は、 仄聞するところによると、平成一 財政基盤の強化 今月末までに

ならず、 だきます。 財産である農山漁村を守っていくた 生存を支える重要な役割を担うのみ 資源の涵養、 本の原風景であり、食料の供給や水 し上げ、開会のご挨拶とさせていた お一層のご支援、ご協力をお願い申 る所存でありますので、皆様方のな た活動を引き続き強力に展開して参 保ちながら、 てくれる国民共有のかけがえのない さと」として、温もりや癒しを与え 全国町村会といたしましては、 都道府県町村会との連携を密に 私たち日本人の「心のふる 国土の保全など国民の 町村の振興発展に向け

来 齊 あ い さ つ

地 方分権改革の進展により、 日本を再生



申し上げます。 招きいただきましたこと、 都道府県町村会正副会長交流会にお 心から感謝

町

ざいます。 いただきますよう期待するところでご れからさらにその確立に向けてご尽力 たことに敬意を表しますとともに、こ ためにこれまでご貢献されて参りまし 町村長の皆様には地方自治の確立の

させていただきます。 代わりに大臣からのメッセージを代読 接ご挨拶すべきところでございます 本来ならば新藤総務大臣が皆様に直 公務のため出席しかねますので、

催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。 町村長の皆様におかれましては、 都道府県町村会正副会長交流会の開 \Box

> 厚く御礼申し上げます。 いただき、心から敬意を表すとともに、 頃から地方自治の発展のため、ご尽力

て、これまでのご貢献に対して御礼申 の皆様、おめでとうございます。改め し上げます。 本日表彰されます自治功労者

優しい社会、誇りある日本を取り戻し 願っています。もう一度元気な日本 たいと願っています。 まず、私たちは日本を再生したいと

を図らなければなりません。 る行政の効率化や行政サービスの向上 まず地域に住む皆様の暮らしをよくす そのためには、地方分権改革を進め

組んでいきたいと思います。 改革を国全体の課題として全力で取り 私は、日本再生のために、地方分権

うな措置を講じました。 対策の迅速かつ円滑な実施ができるよ 約一兆四千億円を創設して、緊急経済 算において、「地域の元気臨時交付金」 つきましては、平成二十四年度補正予 次に、地域経済を元気にする対策に

るよう、契約手続の柔軟な運用や、前 急経済対策の効果が速やかに発揮され 金払制度の積極的な活用等について、 J協力をお願い申し上げます。 町村長の皆様におかれましては、緊

また、平成二十五年度の地方財政対 現在、財務省と事務的

方六団体会長から様々なご意見をいた ついては、一昨日も「地方六団体会合」 において説明し、藤原会長をはじめ地 特に、地方公務員の給与の取扱いに

給与の取扱いについて、 方を申し上げます。 改めて、この場でも、 基本的な考え 地方公務員の

を是非皆様と共有したい。そして、そ のために、 命は「日本の再生」であり、このこと ならないと考えています。 我々が取り組むべき現下の最大の使 あらゆる努力をしなければ

図ることが喫緊の課題となっていま 迷を受け、 さに緊急に、防災・減災事業に積極的 に取り組むとともに、長引く景気の低 一層の地域経済の活性化を

政改革の取組を進めていく姿勢を示す と地方が一丸となって、 の理解を得て進めていくためには、 さらなる行財 玉

坂かもと

総務副大臣

存です。 と折衝を行うことを予定しています にあります。二十七日には、財務大臣 の課題と考え、最大限の努力をする所 源総額を確保するということを最重点 が、安定的な財政運営に必要な一般財 政当局の姿勢もことのほか厳しい状況 な折衝を行わせておりますが、 国の財

だいたところです。

東日本大震災の記憶も新しい今、 ま

また、今後、消費増税について国民

ことも重要と考えています。

意を表します。 とについては十分に理解しており、 独自の給与削減措置や定員削減などの 行財政改革の取組が進められてきたこ 地方におかれましては、これまで、

すよう、お願い申し上げます。 準じて必要な措置を講じていただきま 各地方公共団体において速やかに国に 公務員の給与減額支給措置を踏まえ、 が、平成二十五年度においては、 なご苦労をおかけすることとなります その上で、地方の皆様方には、 国家

の努力を反映できるものにしたい」と 組むことです。三点目が「地方の行革 きない」ということ、二点目が「単な が実行不可能なことを求めることはで 考えています。 下で、今後の検討を進めていきたいと いうことです。以上のような考え方の ず隗より始めよ」との考え方から取り 国と地方の公務員が一体となって、「ま 給与削減の大義というものを打ち立て る財政削減に終わらせず、地方公務員 要と考えております。一点目が「地方 たい」、すなわち、日本再生のため、 その際、次の三点について検討が必

とご協力をよろしくお願い申し上げま 再生に向けて全力で取り組んでまいる 治を発展させ、地域を元気にし、 所存でありますので、引き続きご理解 十分な意思疎通を図りながら、地方自 (ートナーであり、町村長の皆様とは 言うまでもなく、総務省は、地方の 日本

うございます。 させていただきます。 会長交流会の開催に際してのご挨拶と 念いたしまして、都道府県町村会正副 結びに、皆様方の一層のご発展を祈 本日はおめでと

来 あ い さ つ

連携を一 層密にして、 町村を、 日本を元気に

全国町村議会議長会 会長 高橋 正だし

権改革の基本である住民自治の推進に 域が責任をもって決めるという地方分

強

す。道州制の導入は、地域のことは地 以内の道州制導入を目指すとしていま



県榛東村議会議長の髙橋 会議長会 会長を務めております群馬 ご紹介をいただきました全国町村議 正でござい

て、一言ご祝辞を申し上げます。 副会長等が一堂に会し、都道府県町村 会正副会長交流会が開催されるに当た 本日、ここに、都道府県町村会会長 はじめに、ご出席の各都道府県会長、 全国の町村議会議長を代表しまし

町村行政の中枢にあって住民福祉の増 進と地域の振興発展のため、日夜、献 副会長並びに関係者の皆様には、平素 謝を表する次第であります。 身的なご努力と情熱を注いでおられる ことに対しまして、衷心より敬意と感

長会に対し、格別のご理解とご支援を 同時に、日頃から私ども町村議会議

活

の栄に浴されます皆様方には、 して厚く御礼申し上げます。 賜っておりますこと、この場をお借り お慶び申し上げますとともに、今後 また、本日、晴れの自治功労者表彰 心から

るとしています。 果」を出していくことにこだわり続け 敷き、危機突破に向け、一つ一つ「結 末誕生した安倍内閣は、組閣に当たり を経過しようとしておりますが、昨年 能力重視で人材を集め、重厚な布陣を つに全力で取り組めるよう人物本位、 経済再生」「復興」「危機管理」の三 さて、平成二十五年も早や、ひと月

ております。 いても一月末を目途に作業を進められ 閣議決定し、平成二十五年度予算につ の平成二十四年度補正予算を十五日に 済対策十兆円余を含む総額十三兆円余 生本部」を設置するとともに、緊急経 らの脱却による経済の再生であると し、新年に入り、内閣に「日本経済再 特に喫緊の課題は、デフレと円高か

おります。 を取り戻し元気になることを期待して りますので、一日も早く地方が明るさ 地域経済や雇用情勢は厳しいものがあ 傾向の状況にありますが、 現在、株価は上昇傾向、 依然として 為替は円安

> 確保できるよう求めて参りたいと存じ ありますので、地方交付税総額を十分 は、多くの町村にとってまさに命綱で 地方財政対策においては、 今後、 策定される平成二十五年度の 地方交付税

図られなければなりません。 欠であり、安定的な自主財源の確保が ためには、その財政基盤の強化が不可 的・主体的な地域づくりを進めていく そのためには、全国町村会とともに、

最優先に支援を行う必要があると考え 離れ、避難された方々は、今なお三十 に戻れますよう、国・地方をあげて、 れておられます。一刻も早く元の生活 さの中、大変つらい生活を余儀なくさ 万人を超えており、この冬の厳しい寒 大震災からの復興です。生まれ故郷を また、忘れてならないのは、東日本

と懇談したとお聞きしております。是 宮城県を訪問し、仮設住宅に住む方々 九日に福島県を、本年一月十二日には 興状況を把握するため、昨年末の二十 安倍総理は、東日本大震災による復 被災者が明るさを取り戻せるよう

申し上げるまでもなく、町村が自主

りたいと存じます。 機会で地方の財源の確保を要望して参 国との協議の場をはじめ、 いろいろな

ります。

への参加には、

反対してゆく所存であ

要望することとし、引き続き、TPP

林水産業を構築し、農山漁村の再生を

の面からも、政府には、足腰の強い農

してきたところであり、食糧安全保障

農山漁村の崩壊につながるものと反対

さらに、例外なく関税や規制を撤廃

するTPPについては、これまでも、 固として反対してゆく所存でありま 制合併につながる道州制や町村の存在 を否定するような制度の構築には、 逆行する制度であると考えており、

町村の実態を踏まえ、藤原会長を先頭 きな期待を寄せております。 に果敢に行動されており、今後も、 これまでも、全国町村会においては、

て参る所存であります。 う、全国町村会との連携を一層密にし を切り開いていくことができますよ の町村が、将来にわたって明るい展望 我々町村議会議長会としても、

参りましょう。 本を元気にさせるため、共に頑張って これからも、町村を元気にさせ、 \Box

す。 念いたしましてお祝いのご挨拶としま 展と本日ご出席の皆様方のご健勝を祈 終わりに、全国町村会の益々のご発 ります。

スピード感をもった施策を期待してお

の早期成立をはかり、その制定後五年

さて、自由民主党は、

「道州制基本法」

東置賜郡川西町長

原

田

俊

【東京都】

[山形県]

【宮城県】

刈田郡蔵王町長

村

上

英

人

【千葉県】

香取郡神崎町長

石

橋

輝

蒲生郡日野町長

藤

澤

直

広

(4期)

【滋賀県】

【大阪府】

河村文夫氏

泉北郡忠岡町長

和

田 本

吉 昌

衛 親

(5期)

双葉郡樽葉町

草

【奈良県】

南河内郡千早赤阪村長

松

東京都奥多摩町長

【和歌山県】

山辺郡山添村長

窪

田

剛

久

【岐阜県】(4期)

東牟婁郡太地町長

 \equiv

軒

高

【奈良県】(8期)

【青森県】

南津軽郡田舎館村長 上北郡横浜町長

孝

【埼玉県】

野 鈴

坂 木

充 雄

北足立郡伊奈町長

Ш

比企郡嵐山町長

岩 野

澤

勝

州羽郡扶桑町長

江

戸

滿

中川郡池田町長 枝幸郡枝幸町長 樺戸郡月形町長 虻田郡喜茂別町長 虻田郡真狩村長

勝 荒 櫻 菅 佐 一々木

井 屋 庭 原

勝

丸 雄

吉 誠 章 和

> 嗣 見

双葉郡川内村長 西白河郡矢吹町長 東白川郡塙町長 活

表彰状受賞者(町村長3期)

【北海道】

動

鈴 木

西村山郡朝日町長

【福島県】

浩

幸

西多摩郡奥多摩町長

河

村

文

夫

長岡郡大豊町長 安芸郡北川村長

岩 大

﨑

憲

郎 芳

寺

正

邑智郡邑南町長

石

橋

良

治

【高知県】

利島村長

梅

田

和

久

【佐賀県】

二養基郡基山町長

小

森

純

野 菊 池 基 文

崎 吉 郎 南巨摩郡身延町長 【山梨県】

望

月

仁

司

【熊本県】

玉名郡玉東町長

前

田

移

津

行

雄 幸

【長野県】 諏訪郡下諏訪町長

下伊那郡天龍村長

藤

遠

【群馬県】

井 康 行

金

茂

原 荘

木曽郡南木曽町長

大 青

平

巖 悟

速見郡日出町長

工

藤

義

見

木

【大分県】

井 孝 道

佐波郡玉村町長 甘楽郡甘楽町長 甘楽郡下仁田町長

貧

和 好 北安曇郡松川村長

【愛知県】 上高井郡高山村長

久保田 平 林 明 勝

士

宮 Ш 正 光

人 (宮崎県)

東諸県郡国富町長

(鹿児島県)

河 野 利 美

奥 遠 拓 天

肝属郡東串良町長

(退職町村長)

感謝状受賞者

(福島県)

東白川郡棚倉町 藤 田 幸

治

野

孝

弘 道

坂

井

加茂郡富加町

計 \equiv 己

森

▲自治功労者代表

日野郡江府町長 東伯郡北栄町長

竹

内

敏 昭 誠

朗 夫

【熊本県】

(5期

【島根県】

八頭郡智頭町長

谷

郎

【岡山県】 (4期

吉野郡川上村

大

谷

松 寺

本

加賀郡吉備中央町

重

【鳥取県】

興

也

長

嶺

下益城郡美里町

報

▶注連縄作りを習い奉納



緑のふるさと協力隊への参加

いくなかで、豊かさや生き方について 農山村や都市部における貧困を学んで 大学時代、 国際協力を専攻し海外の

協力隊」への参加を決意しました。 間農山村で活動をする「緑のふるさと トを得たいという想いも重なり、一年 生きていくかを考えていくためのヒン な就職活動に馴染めず、これからどう たのが農山村でした。同時に、一般的 の生活に疑問を持つなかで、思い至っ の過程をほとんど知らない消費ばかり モノはまわりに溢れ、しかしその生産 識するようになりました。街に出れば ては自分自身の生活の在り方を強く意 この国のことをほとんど知らないこと 海外研修をきっかけに、「日本」という 考えさせられる機会が多くありました。 に気付かされ、世の中の仕組みやひい

農山村の魅力

いたお野菜で、新鮮な旬のものばかり。 伝い。食卓にのぼるのは作業の後に頂 所の商店で買い物をし、午後ははす向 た。郵便を届けてくれるお兄さん、近 で、いつも誰かが声をかけてくれまし かいのおばあちゃん宅で畑仕事のお手 最初はわからないことだらけの土地

◀冬の屋根雪下ろし



の人との関わりの中で生活が成り立っ 顔を合わせては話が始まります。多く らこんにちは、おつかれさまです、 この前どこどこで車をみかけたよ、 トごとでも役場や地域の方がいて、 んて話もしょっちゅうでした。イベン な あ

中立なかぐき

特定非営利活動法人・地球緑化センター

数えてもらったこと

第2828号

のなかではほとんど感じることがあり り前のことですが、大きな町の仕組み ている、このことはよく考えれば当た きりとしたコミュニティのなかでは ませんでした。しかし地域というはっ まるで大きな家族のようでした。 「人」とのつながりが強く実感でき

えてくれました。しかし、その雪解け 四季折々の色やいきものたち、そう こころが震えるような景色にも出会い つながることも気づきました。 水があるからこそ土地の緑の豊かさに 屋根雪下ろし。雪とともにある暮らし 連日の雪かきや天気と相談しながらの 豪雪地域での初めての積雪量に驚き、 は、自然のなかで生かされていること いったものに彩られた生活のゆたかさ える鳥の声、雪を頂く山々の雄々しさ、 ぼの鮮やかな緑、朝もやの中から聞こ で、一日いちにちが変化に富んでいま ました。季節の移り変わりがあざやか され、いつも何かしらの発見があり を思い出させてくれました。また、冬は した。夏の厳しい陽射し、初夏の田ん それから、自然のゆたかさには圧倒 自然の厳しさ、大変さや怖さも教

ので、ご近所さんや家族が集まる場で 手で作り出す。お味噌づくりやお餅つ 米を収穫し、必要なものを自分たちの きは手間と時間がかかり人手も必要な わっていました。田植えからはじまり 祭りごと、生活のすべてが密接にかか そんな自然環境に囲まれて、食・農

情 報

した実感がありました。
した実感がありました。
お正月にお宮に奉納すもありましたが、稲作と関わりの深い風習であることも学びました。細分化されたものではなく、働くことと生活の関係が近い農山村の暮らしの中では、物事が目に見える範囲、意識出来る範囲をあり、四季の流れの中で「ここで生にあり、四季の流れの中で「ここで生にあり、四季の流れの中で「ここで生にあり、四季の流れの中で「ここで生にあり、四季の流れの中で「ここで生にあり、四季の流れの中でにあった。

農山村の課題

しかし、いまは農山村独自に紡がれ



▶童謡を歌いながら昔話を聞く

第2828号

だと思います。 す。 ら私たちが学ぶことは、とても多いの のを活かして生活を営んできた方々か を形作っているのであれば、 の関係性が、その土地の文化そのもの てしまうかもしれません。 しの知恵は、 る」ことを中心とした昔ながらの暮ら う」ことが容易になったと同時に、「作 う話もよく聞かれました。便利で「買 従事している人の割合は減るばかりで 価値観の相違が大きく、第一次産業に 感じます。世代間における生活様式や てきた暮らしが薄れてきてるようにも 「孫とはほとんど話さなくてね」とい 同じ家で生活をともにしながらも あと10年もしたら失われ 人と自然と 土地のも

も時代、 が暮れてからも農作業を手伝った子ど ることができます。けれど、目の前の 何でもお金で買えてしまえるし、本や も教えてもらいました。いまは気軽に づくり、あけびの実や山菜の見つけ方 た。それから籠あみや箒づくり、栃餅 いつもの風景も見え方が変わりまし ていたこと…そんな話を聞くたびに に思い出話を聞かせてくれました。日 謡を歌う会」では、歌をひとつ歌う度 ンに参加した中で、 なことを教えてくれます。高齢者サロ んが、ふとしたことを糸口に、いろん インターネットからも情報は簡単に得 人から直接に学び、肌で感じることを 年配の方々は、普段多くは話しませ お嫁にきたとき、出稼ぎにで 人気があった「童

▼おばあちゃんから教わる栃餅づくり



きな意味を持つことだと思います。でと」として仕舞い込んでしまうのでごと」として仕舞い込んでしまうのでごと」として仕舞い込んでしまうのでごと」として仕舞い込んでしまうのでごと」として仕舞い込んでしまうので

役割を分担し、田んぼを休ませないよず日はそれぞれ仕事を持ちながらも、集落でのお祭りを盛り上げるために、集落でのお祭りを盛り上げるために、また、住んでいる人がその土地を好また、住んでいる人がその土地を好

た餅はうめえんだ」と笑顔で話すお父た餅はうめえんだ」と笑顔で話すお父にと米作りからはじめ、稲刈り、餅をはいから」そんな話ばかり耳にするがないから」そんな話ばかり耳にするがないから」そんな話ばかり耳にするがないから」そんな話ばかり耳にするがないから」そんな話ばかり耳にするがないから」そんな話ばかり耳にするのではなく、「ここの米を使ってついたしにひとつの「生き方」を示してくれました。「ごこは不便だから」「仕事がないから」そんな話ばかり耳にするのではなく、「ここの米を使ってついた餅はうめえんだ」と笑顔で話すお父にと米作りからはじめ、稲刈り、餅のではなく、「ここの米を使ってついた餅はうめえんだ」と笑顔で話すお父にというにという。



▶青年団で餅まきの準備

情 報

11

▶お母さん方から教わるお味噌づくり

の足元を考える環境があり、 てくれます。小さなころから自分たち とができるんだよ、と誇らしげに話し 遊びを創りだしていますし、こんなこ ちは、するどい感性で自然のなかでの きっかけづくりができます。小学生た での取り組み次第で、地域を考える 校の話も耳にします。しかし、 誇りに思うのではないでしょうか。 大きくなった時に、 さん方が近くにいれば、子どもたちも 子どもの数が少なくなり、 きっとその環境を そして学 統合や廃 小学校

割が大きいと思います。
が、そこにどうつなげていけるか、地実体験を通した学習ができる環境のな

第2828号

別の角度から捉える「あたりまえ」を

と大きな意味や価値を持ちます。外部常の「あたりまえ」は、視点を変える要なのはやはり外部との交流です。日質れ親しむにつれ「あたりまえ」に変化慣れ親しむにつれ「あたりまえ」に変化しかし、どんなに素晴らしいことも

べる先生が地域にはたくさんいます。

じゃがいもを使って出店▶夏祭り、小学生が地域でとれた

いけるかも、重要だと思います。いけるかも、重要だと思います。
いけるかも、生活にも張りとの交流があってこそ、生活にも張ります。その際、グリーンツーリズムが地域の人たちと接する機会になか地域の人たちと接する機会が少なく、「体験」のみに終わってしまうことく、「体験」のみに終わってしまうことも多々あります。外から人を呼ぶことも意になっているとしたら、とても残結果になっているとしたら、とても残になっているとしたら、とても残いけるかも、重要だと思います。

う姿勢で接してくれた地域の方々に ているのだと思います。 てきたものが文化として土地に息づい 斜の多い場所であれば、草刈りや獣害 えて頂き「一緒にやっていこう」とい いヨソモノである私に多くのことを教 を変えながらも、そうして引き継がれ る環境を見直す。時代によってかたち のが農山村の魅力のひとつでもありま 時には息苦しさを感じることもありま たことでした。年配の方々に囲まれ 積極的に地域と関わってこそ見えてき きているわけではないということも な苦労があるということも、 た。普段の何気ない景色の中には様々 決して容易なものではありませんでし 対策の電気柵設置、冬場の除雪作業も 作業での支え合いが欠かせません。傾 したが、様々な世代が生活をしている 集落というコミュニティでは、 価値観の異なる世代に学び、今い 何もわからな 一人で生 共同

■ 学ばせてもらったように思います。学ばせてもらったように思います。

これからをつくる世代として

着任当時はどこかさびしさも感じた土地の風景も、一年間の活動を通して生地の風景も、一年間の活動を通してとても愛着のあるものに変わりました。どの風景にも、地域の人たちの顔た。どの風景にも、地域の人たちの顔た。どの風景にも、地域の人たちの顔かっおいっぱいに開き、自らの身体を通していっぱいに開き、自らの身体を通していっぱいに開き、自らの身体を通していっぱいに開き、自らの身体を通しているできることを決めましたが、離れてもできることを決めましたが、離れてもできることを決めましたが、離れてもできることを決めましたが、離れてもできることを決めましたが、離れてもできることを決めましたが、離れてもできることを決めましたが、離れてもできる。という言葉で表しました。五感をめいるできる。という言葉で表している。

す。 山村に繋がるキッカケを提示しなが やしていきたい。そして色々な形で農 つだと思っています。 繋げていくことがわたしの役割のひと ら、農山村のゆたかさを次の世代にも を共に考え、作りあげていく仲間を増 山村の魅力を発信し、これからの地域 然として限られているようにも感じま ますが、 切にしたいものが多くあります。そん 多様な地域には、生きていくうえで大 な農山村に惹かれる若者はたくさんい 農山村という、一言にはくくれない だからこそ、同世代の目線から農 そこに繋がるチャンネルは依

すばで福興市」も、

しています2012

生業は捨てたくない

報

福呼ぶ

に笑顔が集る

がんばってます、東北!

復興だより



「福興市」は、ほぼ毎月月末の日曜日に開催している

度この町で再開したいと強く

自分たちの生業をもう

る来場者を得て、 2日間で1万000

町の商店街の

人を超え

支えられてのスタートでした。

と町民誰もが感じています。

らの様々な名産品などの提供に

元の商品は何もなく、呼びかけ

を決定。当時、

被災の影響で地

に応じてくれた全国の商店街か

復興ではなく、 「福興

市ではありますが、「福が興る市 とになった市は、 付けられました。 このようにして開催されるこ 「福興市」と名 復興のための

れる品々で賑わうお祭り201 買い物客で熱気にあふれていま すばで福興市」と名を変えて開 材や1年の感謝を込めて販売さ 南三陸町にとって年の瀬の風物 きた「志津川湾おすばで緊り」は 年の暮れからは「志津川湾お 毎年暮れの29日に開催されて お正月を迎えるための食 たくさんの 年 の 日後、 まる市をやろう、と方向性が決 確認ができたところで、 い」と答えていました。 街の誰もが、「また商売がしたい れました。「今後、どうしていき 震災から1カ月半後の4月29日 たい?」との問いに、町の商店 (金・祝) と30日 (土) に開催日 自分たちの生業を取り戻した バーが各地から町を訪ねてく 早速準備が始まりました。 全国の商店街を結ぶ 人が集 意思の

のです。 県で避難生活を送る町民も含め た町民もいたため、 でもらおうとの考えでした。 ました。できるだけ多くの町民 に「福興市」で買い物を楽しん にしたいとの思いが込められた 人あたは00 震災直後は (タコ)」を設定し、他 タコを配布. 財産を失っ 地域通

を迎えてきました。 を主催するなど、 動するようになり、それぞれの で行われていた「お祭り」と連 興市」は、 協会で「福興市訪問バスツアー れています。 お祭りの常連客も戻ってきてく 万~1馬000 そして、回を重ねるごとに が奏功し、1回の市で常に かつて季節ごとに町 他にも、 様々な取り組 八の来場 町の観光





南三陸福興市実行委員長の山内正文さん

笑顔が集う 福興市」を続けて

からも町の復興・再生を長く長 興市」に行けば、みんなの笑顔 情報交換の場。月に1度の「福 て「福興市」は、集いの場であり 店者だけでなく、全町民にとっ の山内正文さんは言います。 南三陸福興市実行委員会委員長 営業再開の準備がなかなか整わ 出店が6割にまでなりました。 興市」。今では地元商店街からの する町民の手で生まれ変わる町 を盛り上げていこうと始めた「福 に会える…。「福興市」は、これ 「福興市」を継続していきたいと、 お店のためにも、 りと待つのではなく、 先の見えない復興計画をまん 町にとって元気の源である 福興市でしか商売ができな 支えていく存在であ できるだけ 町を愛 出

【プログラム】

守る 暮らす

永江寿夫氏(福井県若狭町歴史文

再生応援団代表)

北島 力氏(NPO法人八女町家 西村幸夫氏(東京大学副学長) ハパネルディスカッションI>

守る 暮らす 活かす」

|み保存 in 内子 シンポジウム

(愛媛県内子町)

昭和57年に、内子町八日市護国地区

年を迎えました。 存地区に選定されてから今年度で30周 が四国で初めて重要伝統的建造物群保

おります。 す。多数の方々のご参加をお待ちして マにしたシンポジウムを開催いたしま これを記念して、町並み保存をテー

開催趣旨

た八日市護国地区。 全国的に知られる町並みへと成長し

か。全国の先進的な自治体やNPO関 テージに上るために、今何が必要なの いる。これらの課題を直視し、次のス ちづくりについて考える機会とする。 係者及び研究者を招き、これからのま ない経済効果など様々な課題を抱えて 局齢化にかかる保存への不安、 しかし、その一方で保存地区住民の 高まら

米田誠司氏

(愛媛大学法文学部講

活文化研究所代表取締役所長)

松場登美氏(株式会社石見銀山生

部教授

村

2013年3月2日(土)・3日

町

【場所】

3月2日 9:30~17:00 (〒791-3301愛媛県喜多 郡内子町内子2102番地 内子座

【参加申込み】

参加費】 無料

3月3日 9:30~13:00

稲本隆壽(内子町長)

Project A.Y.代表)

大西啓介氏(NPO法人

フィールドワーク

愛媛県内子町

(申込み期限) し込みください。

town.uchiko.ehime.jp/) からお申 内子町ホームページ(http://www.

お問い合わせ 2013年2月15日 八日市・護国町並保存センター

TEL: 0893-44-5212

化課課長)

芳我明彦氏(八日市護国町並保存 くり工房理事長) 松居秀子氏(NPO法人鞆まちづ

<記念講演I>

<パネルディスカッションⅡ> <記念講演Ⅱ> 西村幸夫氏 (東京大学副学長) アレックス・カー氏 (NPO法人

活かす」 岡崎昌之氏 曲田清維氏 (愛媛大学副学長) (法政大学現代福祉学

をご覧になっていますか ジ 「町村 .com」

全国町村会では、全国の町村との連携を密にし、町村長と町村職員のみなさんの情報収集の利便 性を向上させるため、町村専用ページ「町村.com」を開設しています。

http://www.zck.or.jp/choson/

「町村.com」では、全国町村会の活動状況や中央省庁などの政策情報を随時ご提供しているほか、 全国の町村の先進的な取り組み事例をはじめ、各種統計資料など様々なデータも公表しています。

私どもは、「町村.com」が町村関係者にとって真に役立つホームページとなることを目指し、



れからも充実をはかっていきたいと考えてい ますので、ご覧になったご感想・ご意見を、 記のメールアドレスにお寄せください。

kouhou@zck.or.jp

- 「町村.com」は、町村関係者の方だけがご利用いただ ける専用ページです。 ご覧になる際は、所定のパスワードが必要になります。
- -ザー名とパスワードは、各町村にお知らせ済み(平 成18年9月27日付)ですが、お問い合わせは、全国町村会 広報部までメール(kouhou@zck.or.jp)でお願いいたし

随想

たと思われます。

宮城県色麻町長伊藤拓哉

「搗き餅」です。も餅。それも木製の臼と杵でついた小さい頃のご馳走は、何と言って

走でした。

をしい時代では、餅が何よりのご馳けでもない、まして終戦後の食料が分のように豊富にお菓子があるわ

おいしさです。 がの餡も、小豆の漉し餡、粒餡。 がは正月に限らずお祝い事などその都度食します。宮城の夏は枝豆を がは正月に限らずお祝い事などその都度食します。宮城の夏は枝豆を がは正月に限らずお祝い事などその都度食します。宮城の夏は枝豆を

町

伝統的な健康作物です。お正月に十食べると10年長生きすると言われた(じゅうねん)と言います。これを(じゅうねん)と言います。これをのれると10年長生きすると言われたのがありと高いない。 (おいない) と (いっとない) と (いっ

露地栽培していました。自家消費するぐらいの量を、細々と食するために、農家では

和が町長に就任して4年目の平成10年、町商工会との村おこし事業でこの希少品種荏胡麻に着目しました。荏胡麻の栽培の盛んな福島県会た。荏胡麻の栽培の盛んな福島県会計が方に学びながら、今や日本一の津地方に学びながら、今や日本一の計ら続く減反政策の中、荏胡麻を引き続く減反政策の中、荏胡麻を引き続く減反政策の中、荏胡麻を打ちながら、今日までに至りま

胞に取り込まれます。 は、青魚などにも多く含まれ、体内は、青魚などにも多く含まれ、体内は、 αーリノレン酸を多は、青魚などにも多く含まれ、体内は、青魚などにも多く含まれ、体内のは、青魚などにも多く含まれ、体内のは、

在胡麻を原材料として多くの特産上し、コレステロールや中性脂肪を下げる働きがあると言われています。 たことがお分かりかと思います。 たことがお分かりかと思います。

キー、プリン等々です。焼酎、そば、アイスクリーム、クッじめとしてドレッシングやぽん酢、

で販売されています。
世界一の養鶏農場があります。その一部に荏胡麻を給業「イセ食品」の世界一の養鶏農場があります。その一部に荏胡麻を給

に活用され、色麻町の活性化に大きが参り賑わいを見せております。があり、近県からもお客餅の餡として、かろうじて存続しがあり、近県からもお客町にはエゴマ卵食べ放題の「卵か町にはエゴマ卵食べ放題の「卵か

いかと思っています。材が見つかるというよい事例ではな足下を見つめれば、町おこしの素

く貢献するに至りました。

す。

本の大好きな餅。今も町の秋の収
を
は、
発行政区が1カ所に集い、
を
は、
発行政区が1カ所に集い、

とは疑いの余地もないでしょう。される日本の伝統的食べ物であるこが、これからも餅は、老若男女に愛が

品が生まれました。荏胡麻の油をは





(自動車総合保険の車両保険)

この車両共済(保険)は、町村生協の自動車共済で補償する対人賠償、対物賠償、限定 搭乗者傷害等に加え「ご自身のおクルマの補償(車両保険)」を追加する制度です。 お車が衝突した場合や台風・いたずら・盗難など偶然な事故で損害を被ったときに、 共済(保険)金をお支払いします。

町村生協の自動車共済にご加入の皆様なら!

- ○無事故による割引で新規から **33% (保険料) 割引** (ご加入を希望するお車が町村生協の自動車共済で過去3年間無事故の場合は、ノンフリート等級9等級からスタートします。)
- ○集団扱年一括払いによる割引で更に
- ○保険料分割払(12回)も選択可能です。 (保険料分割払をご利用の場合は上記の集団扱年一括払の5%割引の適用はありません。)

無料ロードサービスがついてきます。 ご契約のお車が、事故・故障で自力走行できなく なった場合、事前にロードサービス専用デスクに ご連絡ください。JAFにお取り次ぎし、レッカーや 30分程度の緊急修理などを手配します。

●バッテリー上がりや、キー閉じ込み、ガス欠など

◎ 1 年間事故が無かった場合は、翌年の等級は 1 等級上がります。 事故によって車両共済(保険)をご利用された場合は、事故件数1件につき3等級下がります。

契 約 条 件 と 掛 金(保 険 料)例

- 自動車総合保険(損保ジャパン)保険期間1年
- ・自動車保険集団扱年一括払による割引5%適用。

名 フィット 式 GF6 初度登録 平成23年2月 年 齢 条 件 26歳以上補償 運転者限定 本人:配偶者限定

記名被保険者 30才 新車割引有

共済(保険)金額 150万円 払 込 方 法 集団扱年一括払

	加入タイプ	目己負担額(免責金額)なし	目己負担額(免責金額)5万円
	一般条件(割引適用済)	56,400円	42,710円
	(通常・新規で加入する場合)	79,970円	60,570円
	車対車+A (割引適用済)	25,040円	18,960円
	(通常・新規で加入する場合)	35,500円	26,880円

- ・上記掛金(保険料)は、町村生協の自動車共済で過去3年間無事故(ノンフリート等級9等級)の場合のものです。保険料 は平成23年4月1日現在のものであり、変更される場合もあります。
- ・掛金(保険料)は、型式、初度登録年月、年齢条件、運転者限定特約の有無、共済(保険)金額、等級などにより異なります。
- ・上記掛金(保険料)例の「通常に新規で加入する場合」とは、ノンフリート等級6S等級を適用した保険料を例示したもの
- ・このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容については取扱代理店(千里)または損保ジャパンの営業店にお問 い合せください。
- ※この車両共済(保険)をご契約いただける方は、全国町村職員生活協同組合の自動車共済に加入されている方に 限ります。

お見積りのご請求・お申し込み・お問い合わせなどは、下記までご連絡ください。

株式会社 千里 (取扱代理店)

- ●フリーダイヤル 0120-731-087 (受付時間 月~金 午前9時30分~午後5時) お電話の際には、車検証をお手元にご用意ください。
- 03-3519-7325 ●FAX番号
- ●ホームページアドレス http://www.chisato-ag.co.jp

〒100−0014 東京都千代田区永田町1-11-32 全国町村会館西館内

- ●「車両共済(保険)制度」は、全国町村職員生活協同組合と株式会社損害保険ジャパンとが集団扱契約を締結し、実施しているものです。
- 集団扱としてご契約いただけるのは、保険契約者および被保険者が損保ジャパンの定める条件を満たす場合のみとなります。 詳細については、取扱代理店(千里)または損保ジャパンにお問い合わせください。

〈車両保険引受保険会社〉㈱損害保険ジャパン

SJ10-13443(2011.3.18作成)